

平成23年5月 / 日

長岡市長 森 民夫 様

〒 9 4 0 - 2 5 0 1

申請者 住 所 長岡市寺泊野積2327-1

団 体 名 野積ハマボウフウ育成会

代 表 者 会 長 河 合 久 雄



平成23年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金交付申請書

平成23年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

事業名	野積の宝ハマボウフウの保護・育成事業																																																									
事業概要	<p>【目的】 野積の浜の宝である海浜植物、特にハマボウフウの保護・育成、盗掘防止のための見回り巡視活動を行う。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見回り・監視活動</li> <li>・採取禁止、自生地への四駆車乗り入れ禁止看板の設置</li> <li>・地域住民に対する啓発パンフレットの配布</li> <li>・盗掘者に対する啓発・指導パンフレットの配布</li> <li>・監視活動 特に重点月間5月～6月</li> <li>・種の採取 9月～10月</li> <li>・種蒔き 10月～11月</li> </ul>																																																									
補助申請額	<table border="1"> <tr> <td>下記 (F)の額を記入</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table>				下記 (F)の額を記入	1	2	0	0	0	0	円																																														
下記 (F)の額を記入	1	2	0	0	0	0	円																																																			
補助申請額算出の基礎	<table border="1"> <tr> <td>支出の部合計(A)</td> <td>150,000円</td> <td>補助対象外経費(B)</td> <td>0円</td> <td>=</td> <td>補助対象経費(C)</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td></td> <td>特定財源(D)</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの</td> <td>=</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">(C)-(D)=補助金算出対象額</td> <td>(補助率)</td> <td>150,000円</td> <td>×</td> <td>80%</td> <td>=</td> <td>補助金額 (E)</td> <td>120,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="7"></td> <td>↓</td> </tr> <tr> <td colspan="7">補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F)</td> <td>120,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="7">※金額の上限は50万円です</td> <td></td> </tr> </table>				支出の部合計(A)	150,000円	補助対象外経費(B)	0円	=	補助対象経費(C)	150,000円						特定財源(D)	0円	事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの				=			(C)-(D)=補助金算出対象額		(補助率)	150,000円	×	80%	=	補助金額 (E)	120,000円								↓	補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F)							120,000円	※金額の上限は50万円です							
支出の部合計(A)	150,000円	補助対象外経費(B)	0円	=	補助対象経費(C)	150,000円																																																				
					特定財源(D)	0円																																																				
事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの				=																																																						
(C)-(D)=補助金算出対象額		(補助率)	150,000円	×	80%	=	補助金額 (E)	120,000円																																																		
							↓																																																			
補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F)							120,000円																																																			
※金額の上限は50万円です																																																										
事業期間 (予定)	着 手	平成23年 5 月 1 日	完 了	平成23年12月20日																																																						
添 付 書 類	<input type="radio"/> 団体の概要説明書 (第2号様式) <input type="radio"/> 事業計画書 (第3号様式) <input type="radio"/> 事業の収支予算書 (第4号様式)																																																									



## 平成23年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申請団体の概要

## 1. 申請団体の概要および申請事業の計画等【公開対象】

ふりがな	のづみはまぼうふういくせいかい		
団体名	野積ハマボウフウ育成会		
代表者氏名	(肩書: 会長) 河合久雄		
設立年月日	昭和・ <input checked="" type="radio"/> 平成	22年4月25日	構成員数 30人
設立目的	野積海岸に自生する海浜植物、特にハマボウフウの保護、育成のため啓発パンフの配布、看板立て、巡視活動を行う。		
これまでの活動実績	<p>昨今、野積海浜でのハマボウフウの盗掘があまりにもひどく、このままでは絶滅してしまうのではとの危機意識から昨年4月に本会を設立し、地域コミュニティ事業資金からの補助金で看板を設立、かつ監視パトロールを強化し、盗掘防止活動をしてきた。</p> <p>今年に入り一定の成果はあったが、昨年の補助金からの看板だけでは足りず、今年春に手書き看板も十数枚作成し松林林道に立てかけた。さらにパトロールを強化したことから今年の盗掘は10件程度に抑えられ昨年の盗掘と比較した場合、大きく減少している。</p> <p>(昨年は監視活動に入るのが遅く、一万本以上の被害?があったが、今年は現段階では2~3千本程度の被害と想定される)</p> <p>ただ連日3~4人で朝から夕方まで巡視活動を続け、盗掘者への事前指導、事後指導を繰り返しているのが現状の活動状況である</p>		
過去の補助実績 (該当する場合のみ)	年度	補助を受けた制度の名称	補助金額(円)
	22	長岡地域コミュニティ事業補助金	220,000
添付資料	事業計画	・別添「第3号様式 事業計画書」のとおり	
	収支予算等	・別添「第4号様式 事業の収支予算書」のとおり	
	その他、団体をPRするパンフレット等	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> (どちらかに○印)	

## 2. 申請団体の連絡先等【公開、非公開を選択※】

事務所所在地	長岡市寺泊野積2327-1	<input checked="" type="radio"/> 公開・ <input type="radio"/> 非公開	
電話・FAX番号等	電話 0258-75-2747 FAX	<input checked="" type="radio"/> 公開・ <input type="radio"/> 非公開	
	Eメールアドレス		
担当者連絡先	氏名	河合久雄	<input checked="" type="radio"/> 公開・ <input type="radio"/> 非公開
	住所	長岡市寺泊野積2327-1	
	電話・FAX番号等	電話 75-2747 FAX	
		Eメールアドレス	
添付資料	名簿またはこれに類するもの	・別添のとおり	<input type="radio"/> 公開・ <input checked="" type="radio"/> 非公開
	規約またはこれに類するもの	・別添のとおり	<input checked="" type="radio"/> 公開・ <input type="radio"/> 非公開

※ 個人情報保護の観点から、広く公開してもよいものなら“公開”に、そうでないものは“非公開”に○を付けてください。

※ 2の添付資料(名簿類・規約類)については、交付審査の際の資料として審査関係者に提示する場合があります。

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>野積海岸の宝 ハマボウフウの保護・育成事業</p>												
<p>事業実施の目的                  (目的                  現状                  課題                  必要性)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野積海岸に自生する海浜植物、特にハマボウフウは年々少しづつ増えて来ているが、昨今盗掘・乱獲が多くてこのままでは絶滅してしまう現状になっている。</li> <li>・地域の宝であるハマボウフウがこの地域から消えてしまいかねない実態から、地域住民を中心に保護、監視活動を強化してハマボウフウの里としてさらに増やし、次世代にまで引き継ぎたい</li> <li>・将来は地域の特産物として事業化できることが最高である。</li> </ul>												
<p>事業内容                  (実施月日                  実施場所                  参加者数                  実施内容等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民に対する啓発パンフレットの配布(第2回目)</li> <li>・採取禁止に加え4輪駆動車の自生地乗り入れ禁止の看板の設置</li> <li>・監視活動と並行して上記看板を砂防林松林の入り口にを立てて強く訴えていく</li> <li>・活動内容                         <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>5月～6月</td> <td>重点監視活動</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>マスコミ対策(日報窓に投稿)</td> </tr> <tr> <td>6月～7月</td> <td>看板設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域住民に対する啓発パンフの配布</td> </tr> <tr> <td>9月～10月</td> <td>種採取</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>種まき</td> </tr> </table> </li> <li>・監視活動強化のための装備の充実                          双眼鏡, 拡声器 各2台購入</li> </ul>	5月～6月	重点監視活動	5月	マスコミ対策(日報窓に投稿)	6月～7月	看板設置		地域住民に対する啓発パンフの配布	9月～10月	種採取	11月	種まき
5月～6月	重点監視活動												
5月	マスコミ対策(日報窓に投稿)												
6月～7月	看板設置												
	地域住民に対する啓発パンフの配布												
9月～10月	種採取												
11月	種まき												
<p>本年度の事業スケジュール</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月～6月 重点パトロール</li> <li>・5月 マスコミからの啓発記事を出してもらう 新潟日報、窓に投稿、市政だより他</li> <li>・6月 地域住民に対する啓発パンフレット配布</li> <li>・7月 現地勉強会と新たな看板立て</li> <li>・9月 ハマボウフウの種の採取</li> <li>・11月 希薄な個所での種まき作業</li> </ul>												
<p>地域活性化の波及性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハマボウフウを保護・育成することにより野積地域の人たちが雪割草と合わせて二つの宝を次世代迄守りつないでいこうとする機運が大きくなってきたことは確かである。</li> <li>・故郷野積には県内はもとより全国的にも珍しい希少植物であるハマボウフウをはじめとする海浜植物、さらに雪割草を中心とする山野草の宝庫であることの認識が芽生え、この地で生活していく上での自信と誇りが出てきた。</li> <li>・かつて野積は辺境の地であり、今でも長岡市の北のはずれで地理的にはかなりのハンデはあるが地域の宝(ハマボウフウと雪割草)を見つけて、そこに光を当てていくことで地域住民が生きがいを持ち、日々の生活が活性化できればと考えています。</li> </ul>												

※ 事業の内容は、詳細に記載してください。(別紙も可)

第3号②様式

継続申請の理由 (年次計画により段階的に実施する予定の事業のみ記入)

<p>年次計画で実施する理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年、本件事業を開始し、採取禁止の看板を立てるとともにパトロールを強化したことから、被害がかなり減少した。</li> <li>・本年は、採取禁止に加え4輪駆動車の自生地乗り入れ禁止看板の設置し、双眼鏡・拡声器による監視活動を強化することで被害を最小限に抑えたい</li> </ul>	
<p>年度別事業スケジュール</p>	<p>1年目 (平成22年度)</p>	<p>※1年目の事業計画を記載してください (例:○○○の計画づくり、仲間集め)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見回り、巡視活動</li> <li>・採取禁止の看板立て</li> <li>・地域住民全戸への啓発パンフの配布</li> <li>・会員の勉強会、現地勉強会の実施</li> <li>・種採取</li> <li>・種まき</li> </ul> <p>【事業費】275,510円(経費内訳 委託料 180,940円、講師謝礼 40,000円、消耗品 28,000円 印刷製本費 13,870円、原材料費 9,700円、使用料 3,000円)</p>
	<p>2年目 (平成23年度)</p>	<p>※2年目の事業計画を記載してください (例:○○○のイベント実施 本年度の申請)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年は、採取禁止に加え4輪駆動車の自生地乗り入れ禁止看板の設置し、双眼鏡・拡声器による監視活動を強化する</li> </ul> <p>【事業費】150,000円(経費内訳 看板作成委託料 100,000円、備品購入費 20,000円、消耗品 10,000円、印刷製本費 10,000円、講師謝礼 10,000円)</p>
<p>年度別事業スケジュール</p>	<p>3年目 (平成 年度)</p>	<p>※3年目の事業計画を記載してください (例:○○○の工夫によるイベントへと発展 ○○○が地域に定着)</p>
	<p>【事業費】</p>	<p>円(経費内訳 )</p>

第4号様式

事業の収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
地域コミュニティ事業補助金(F)		120,000	
自己 資金	会費	30,000	1,000円 * 30人
特定 財源	寄附金		
	参加費		
	その他収入金		
	小 計(D)		
その他			
合 計		150,000	

支出の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
補助 対象 経費	委託料	100,000	看板設置5枚 * 20,000円
	双眼鏡	20,000	2台 * 10,000円
	拡声器	10,000	2台 * 5,000円
	印刷製本費	10,000	啓発パンフレット、世帯数320戸
	講師謝礼	10,000	講師謝礼
	小 計(C)	150,000	
補助 対象 外 経費			
	小 計(B)	0	
合 計(A)		150,000	

※ 項目欄が不足する場合は、同類の項目をまとめて記入し、細目は別紙に記載してご提出ください。